

N E W O P E N

マルチセクター連携促進サービス

Menu



連携コンサルティング

主な対象

他セクターと連携したいけどどこから始めれば良いかわからない方

主な内容

誰と連携し、何を実現したいのか、協働の型はどれにするか、責任と役割、そしてアウトカムを決定。コンサルタントが事業実施までを伴走します。

日程：6～12ヶ月



事業創造研修

主な対象

社会課題解決からイノベーションの芽を見つけて事業創造マインドをチームに養成したい方

主な内容

社会課題をイノベーションの種として捉える。そこで新しい視点を得ながら、他セクターと連携した事業を作り上げていく知識を身につけて、実践します。

日程：1.5日(集合)



ワークショップ

主な対象

まずはアイデア出しでの段階において連携の雰囲気を感じたい人はここから

主な内容

他のセクターの人たちと出会い、自分の強みを知り、他者との連携可能性を見つけます。まずは連携の雰囲気を見てみたいという方におすすめです。

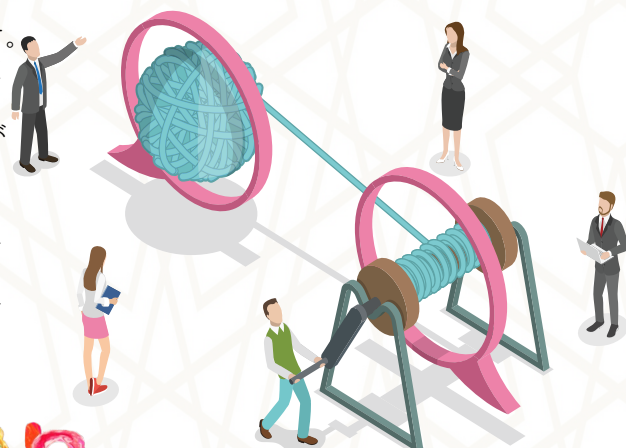
日程：半日

AI時代、求められる力に事業構想力(創り出す力)があります。古より事業の多くは課題解決から始まります。現代における事業の種は社会課題です。

その現代の社会課題は、1社・1団体では解決しきれないものが数多くあります。そこで複数の組織が共通の目的(Shared Vision)を持って、事業として課題解決に取り組みます。

組織にこうしたマインドを醸成したい場合は研修から。逆に連携事業具体的に創りながら、現場から学ぶ場合はコンサルティングから。少し様子を知りたい方は、ワークショップから。いずれも経験豊富な運営メンバーが伴走しますのでご相談ください。

Shared Vision



連携を考え・実践する3つのサービス

連携コンサルティング

オースティンのCVCモデルを使用してよりよい協働を構築します

1. 価値創造領域 (the value creation spectrum)

(1) 資源補完性 (2) 資源特殊性 (3) 資源の統合度 (4) 自己利益との関係性

2. 協働ステージ (collaboration stages)

(1) 資金支援型 (2) 協力型 (3) 共創関係型 (4) 新組織開発型

3. 協働プロセス (partnering processes)

(1) 選定 (2) リスク (3) デザイン・実施 (4) 協働の制度化

4. 協働アウトカム

	経済	社会	環境
(1) ミクロ(個人)			
(2) メソ(組織)			
(3) マクロ(社会)			

事業創造研修

「社会課題から事業の種を見つける事業発想力養成研修 (入門編)」

- ・ 主な対象者：新入社員～20代後半
- ・ 行程：事前課題・集合研修・事後課題・共有 (集合1.5日)

1. 事前課題・自分を知り相手を知る (数時間)

社会課題に取り組む組織を分析 / 事業アイデアをまとめる

2. 集合研修 (1日)

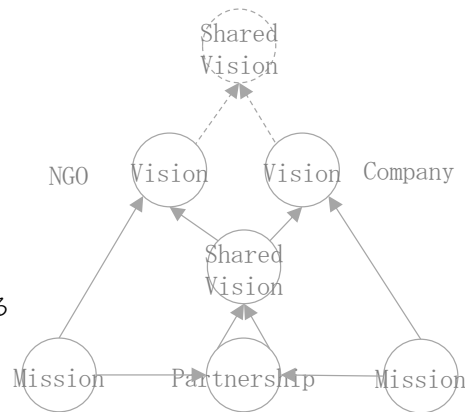
事業素案を持ち寄り共有 / 意見をぶつけ合い事業案を深化させる

3. 事後課題・深める (伴走者と1ヶ月ほど)

社会課題の事業構築を専門とする / スペシャリストが伴走し完成させる

4. 深化の共有・発表 (半日)

出来上がったプランを発表し投票・表彰 / 実際に事業実施



ワークショップ

自社・自団体の強みを知り連携相手との出会いの場



NPO・NGO・企業・自治体・政府系組織・アカデミアなど多様なセクターと一緒に、連携を考えます。

「事業創造研修」の体験版にもなっています。出会いの場で、社会を変える一歩を。

2024年の「外務省NGO研究会」から発足

主な事業

- ・ 社会課題をマルチプレイヤーにより解決する
- ・ 事業構築伴走者の育成と紹介
- ・ 社会課題の解決と事業構築に関する教育

問い合わせ：CSOネットワーク
E-mail: Partnership2024@psonj.org

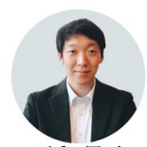
Shared Vision



丸原 孝紀
東急エージェンシー
POZI



長谷川 雅子
CSO ネットワーク
共同代表



楯 晃次
(株)EMA
代表取締役



木村 文
朝日新聞
with Planet 副編集長



篠原大作
日本ハビタット協会
事務局長



中山雅之
国士舘大学
21世紀アジア学部長